北海道デイサービスセンター協議会
令和４年度認知症介護実践研修（実践者研修）
カリキュラム

※　受講生は事前にカリキュラムを確認してください。

〇講義・演習：24 時間（1,440 分）
〇実習：課題設定 240 分、職場実習 4 週間、実習のまとめ 180 分

【前期】

１日目／時間	科目	目的	内容
9：20～ 9：30 （10 分）	オリエンテーション		
9：30～12：30 （180 分）	認知症ケアの理念・倫理と意思決定支援	認知症の人が望む生活を実現するため、認知症ケアの歴史的変遷や認知症ケアの理念、認知症の原因疾患、中核症状、行動・心理症状（BPSD）の発症要因、認知症ケアの倫理や原則、認知症の人の意思決定支援のあり方について理解を深める。	〇認知症ケアの理念と我が国の認知症施策 〇認知症に関する基本的知識 〇認知症ケアの倫理 〇認知症の人の意思決定支援 〇自己課題の設定
12：30～13：30 （60 分）	昼休み		
13：30～18：30 （300 分）	生活支援のためのケアの演習１	食事・入浴・排泄等の基本的な生活場面において、中核症状の影響を理解した上で、認知症の人の有する能力に応じたケアとしての生活環境づくりやコミュニケーションを理解する。	〇生活支援のためのケア 〇認知症の生活障害 〇認知症の人の生活環境づくり 〇中核症状の理解に基づくコミュニケーション 〇生活場面ごとの生活障害の理解とケア

２日目／時間	科目	目的	内容
9：30～10：30 （60 分）	QOL を高める活動と評価の観点	認知症の人の心理的安定や QOL（生活・人生の質）向上を目指す活動に関する基本的知識、展開例、評価の観点と方法について理解を深める。	〇アクティビティの基礎的知識と展開 〇心理療法やアクティビティの評価方法
10：40～12：10 （90 分）	家族介護者の理解と支援方法	在宅で介護する家族支援を実践する上で、その家族の置かれている状況や心理、介護負担の要因を理解し、必要な支援方法が展開できる。	〇家族介護者の理解 〇家族介護者の心理 〇家族介護者の支援方法
12：10～13：10 （60 分）	昼休み		
13：10～14：40 （90 分）	権利擁護の視点に基づく支援	権利擁護の観点から、認知症の人にとって適切なケアを理解し、自分自身の現状のケアを見直すとともに、身体拘束や高齢者虐待の防止の意識を深める。	〇権利擁護の基本的知識 〇権利侵害行為としての高齢者虐待と身体拘束 〇権利擁護のための具体的な取組み
14：50～16：50 （120 分）	地域資源の理解とケアへの活用	関係職種、団体との連携による地域づくりやネットワークづくり等を通じて、既存の地域資源の活用や認知症の人が地域で自分らしく暮らし続けるための地域資源の開発の提案ができる。	〇認知症の人にとっての地域資源と実践者の役割 〇インフォーマルな地域資源活用 〇フォーマルな地域資源活用 〇地域資源としての介護保険施設・事業所等

【後期】

３日目／時間	科目	目的	内容
9：30～10：30 （60 分）	学習成果の実践展開と共有	認知症介護実践者研修におけるこれまでの学習成果を踏まえ、自施設・事業所での自らの認知症ケアを実践することにより、研修で得た知識を実践において展開する際に生じる気づきや疑問・課題を明らかにする。それらの自分自身の認知症ケア実践の課題や取り組みの方向性を検討し、他の受講者と共有することにより、知識の活用に関する幅広い視点を得る。	○認知症の人本人の声を聴く （自施設・事業所における実践） ○事例収集 （自施設・事業所における実践） ○中間課題の発表と共有
10：40～12：40 （120 分）	生活支援のためのケアの演習２（行動・心理症状）①	認知症の行動・心理症状（BPSD）が生じている認知症の人に対して、行動の背景を理解した上で生活の質が高められるようチームで支援できる。	○行動・心理症状（BPSD）の基本的理解 ○行動・心理症状（BPSD）の発症要因とケアの検討（事例演習） ○行動・心理症状（BPSD）の評価 ○生活の質の評価
12：40～13：40 （60 分）	昼休み		
13：40～15：40 （120 分）	生活支援のためのケアの演習２（行動・心理症状）②	①と同じ	①と同じ
15：50～17：50 （120 分）	アセスメントとケアの実践の基本①	認知症の人の身体要因、心理要因、認知症の中核症状のアセスメントを行い、具体的なニーズを導くことができるようアセスメントの基本的視点を理解する。アセスメントを踏まえた目標の設定と、目標を実現するためのケアの実践計画の作成・立案・評価ができる。	○認知症の人のアセスメントの基礎的知識 ○観察の方法とポイント ○アセスメントの実際 （事例演習） ○実践計画作成の基礎的知識 ○実践計画作成の展開 （事例演習） ○実践計画の評価とカンファレンス

４日目／時間	科目	目的	内容
9：30～12：30 （180 分）	アセスメントとケアの実践の基本②	①と同じ	①と同じ
12：30～13：30 （60 分）	昼休み		
13：30～17：30 （240 分）	自施設~~及び他施設~~実習の課題設定	認知症の人が望む生活の実現に向けて、適切にアセスメントを行い、課題と目標を明確にした上で、ケアの実践に関する計画を作成することができる。	○実習のねらい ○対象者選定 ○課題設定 ○４週間の行動計画の作成
17：30～17：50 （20 分）	研修のレビュー （振り返り）		

【実習評価】

実習評価／時間	科目	目的	内容
9：30～12：30 （180 分）	自施設実習~~及び他施設~~実習評価	アセスメントやケア実践計画の実施結果を整理した上で、客観的に評価、分析し職場および自己の認知症ケアの今後の課題を明確にすることができる。	○実習報告 ○ケア実践計画の評価 ○職場への報告と展開